

例会報告：2016年2月9日（晴れ） 第1922回 通常例会

（続き）行動規範に沿って行動しようとしているかどうかを、「四つのテスト」でチェックし行動すれば良いものと考えられます。さて、我々は職業奉仕を推進するに当たり、いったい何を認識し、いかに行動すれば良いのでしょうか？ロータリーの職業奉仕理念を、我々の常日頃の行動に重ね合わせてみましょう。

<ロータリアンの職業奉仕>

【企業の社会的責任とロータリー】

企業の社会的責任は、事業が行われる地域社会と環境に対して、企業が責任を持つことを意味しています。つまり、「倫理的に行動し、経済開発に寄与すると同時に、労働者とその家族、ひいては地域社会と社会全体における生活の質を改善するために、企業が継続的に取り組むこと」とされています。

【日本の常識=世界の非常識】

戦国時代から江戸時代にかけて日本は宣教師の墓場と言われていた！フランシスコ・ザビエルも布教活動において、他人を思いやる日本人の素直で素朴な質問に対して、答えに窮していたという。宣教師：汝、信じれば救われる。信じなければ地獄におちる。日本人：そんなに凄い神様、オラの爺さまや婆さまは知らずに死んだ。地獄に落ちた爺さまや婆さまはどうなるんだか？オラたち、自分だけ天国に行くわけにはいかない。自分以外をおもんばかりの日本の美德、超我の奉仕に繋がりますね。

【知らないうちに実践している日本人の職業奉仕】

2015年地区研修協議会職業奉仕部門での後藤リーダーの言葉に凝縮されている。「売り手よし、買い手よし、世間よしの三方よし」職業に誇りを持ち、コンプライアンスを順守した事業発展に努力し、地域社会の支持を得ると共に税金を完納する。前工程・後行程への配慮をした事業推進により、仕入先の満足（互恵取引）・販売先の満足（CS）・従業員の満足（ES）向上を追求する。

いかがでしょう、皆さん当たり前のように普段行っていることをロータリーは述べていると思いませんか？「職業奉仕は難解で、何をしたらよいか解らない」という人は、実は既に職業奉仕を実践している新たに行うことが無い、ということかも。(^^)具体的な奉仕活動のアイデアが無い時は、一所懸命事業を推進して下さい。それは素晴らしい職業奉仕活動となるはずです。「職業奉仕入門」に紹介されている職業奉仕の実践、と「職業奉仕ニュースレター」で紹介されているクラブでの職業奉仕プロジェクト例、を資料に載せましたので是非職業奉仕活動における参考として下さい。

<職業奉仕入門で紹介されている職業奉仕の実践>

- ◇「四つのテスト」と「ロータリーの行動規範」について、例会で話し合う。
- ◇ある職業分類を取り上げた例会プログラムを実施する。
- ◇例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う。
- ◇会員の職場訪問を行う。
- ◇職場で倫理に関する研修を行う。
- ◇地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす。
- ◇高潔の精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。
- ◇若者のキャリア目標を支援する。
- ◇専門能力の開発を奨励し、指導する。
- ◇職業に関連する親睦活動グループに参加したり、新たにグループを設立する。
- ◇若者を対象とした作文やスピーチのコンテストを実施する。

<職業奉仕ニュースレターで紹介されているクラブでの職業奉仕プロジェクト例>

- ◇地元地域の人々を招いた異業種交流イベント
- ◇失業者や転職希望者のためのキャリア相談室
- ◇若者や学生の進路相談
- ◇高い倫理を実践した地元企業等の表彰
- ◇職業のスキルを生かした奉仕活動

また、地元企業の工場見学や事業内容のレクチャー、地元学校からの職場体験実習の受け入れ、等も職業奉仕プロジェクト例と言えるでしょう。

❖ 奥様誕生日

志澤 有紀子さん（2月14日）

❖ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
2月9日分	5,000	557,001	1,300,000

*卓話者

小泉 隆一郎様（伊勢原RC）…地区職業奉仕委員会に出向しています。本日卓話よろしくお祈いします。

*その他

露木 清勝さん…本日、早川小学校で寄木細工の出前授業の為早退します。申し訳ございません。

金山 慶昭さん…先週はお誕生日を祝っていただきありがとうございます。又、長年にわたり大変お世話になりました。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2016年2月-

- ▶17日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「卓話：社会・国際奉仕委員会 委員長 井島 誠行様」
- ▶18日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「卓話：元麻薬取締員 本田 正純様/薬物乱用の怖さ」
- ▶19日(金) **湯河原** ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話：会員による卓話」
- ▶19日(金) **足柄** おんりーゆー 12:30
「クラブフォーラム：担当 特別」
- ▶22日(月) **小田原** 報徳会館 12:30
「卓話：ビーサイズ (株) 代表取締役 八木啓太様/ (仮題) 新しいモノづくりの在り方」
- ▶23日(火) **箱根** 夜間例会
- ▶24日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「卓話：社会保険労務士 大谷 真様」
- ▶25日(木) **小田原中** 報徳会館 17:30
「クラブフォーラム：新会員セミナー報告」
- ▶26日(金) **湯河原** ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話：クラブ協議会⑤次年度役員編成」
- ▶26日(金) **足柄** 夜間特別例会 18：30～
- ▶29日(月) **小田原** 休会

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：<http://www.odawarajhrc.jp>
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：柳井 涉
編集長：小林 和彦
コピーライター：小林 和彦
デザイン：小林 和彦
フィールド：大川 久弥

会員数：42名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ



世界へのプレゼントになろう

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1923回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2016年2月16日 12：30～13：30

司会：須藤 公司 副幹事

12：30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「手に手つないで」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13：00	担当：久保田会員 卓話：神奈川県社会福祉事業団 常務理事 平本様 「社会福祉事業の今に思うこと」
13：30	閉会点鐘：木村 頼弘 会長

■地区活動目標の概要

1.奉仕活動	ポリオ撲滅最優先 R財団地区補助金事業推進
2.公共イメージ	IM クラブ周年記念事業 ロータリーデーなどイメージ向上の機会を創る
3.寄付	財団：一人当たり 200ドル以上 米山奨学：一人当たり 20,000円以上 ポリオ撲滅：一人当たり 40ドル以上 ベネファクター：1クラブ 1名以上 ロータリーカードの普及
4.会員増強	10パーセント 衛生クラブを立ち上げる。
5.中核的価値観	ロータリーを学び、また学ぶ機会として、例会・IM・地区委員会・地区セミナー・地区大会・国際大会の出席率を高める。
6.オンラインツール	My Rotary ロータリークラブセントラルにクラブ情報入力
7.特別月間	戦略計画とR財団6つの重点分野を学び実践する機会として理解する。

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2015-2016
WEEKLY BULLETIN



【会 長】木村 頼弘
【副会長】久保田 知子
【幹 事】柳井 涉
【副幹事】須藤 公司
【会場監督】西 寛

楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

【今後の例会・卓話スケジュール】

2月23日（火）40周年記念事業例会 12:30
移動例会 記念植樹

3月1日（火）40周年卓話例会 12:30

3月8日（火）40周年準備例会 12:30

3月15日（火）通常例会
クラブ協議会（PETS報告）

3月22日（火）通常例会
クラブフォーラム（社会奉仕）

3月29日（火）休会

4月2日（土）40周年記念式典

4月12日（火）通常例会 12:30
担当：鈴木会員
卓話：みずほ証券（株）経営調査部投資教育推進室
室長 浜崎祐一郎様

4月19日（火）通常例会 12:30
クラブ協議会（地区協報告）

例会報告：2016年2月9日（晴れ） 第1922回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2016年2月9日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶

「ESS」について



木村 頼弘 会長

ロータリーの言葉の中に「ESS」という物があります。今日はその「ESS」についてお話します。ロータリークラブとは一体なんだろうと思った時、最も判りやすく表現したものが「ESS」です。これは国際ロータリーが発表したロータリークラブの本質であるといわれています。今日は若い会員のために「ESS」の意味について今一度考えて見たいと思います。この「ESS」は何の頭文字を取ったかお判りでしょうか。

E=ENJOY（楽しむ）という事です。

解り易く言えば、ロータリーはまず親睦からと言われるほど、友達を作って楽しむ事を第一に考えなければなりません。気の合う仲間を作り、その仲間と酒を飲んだり、遊びに行ったり、腹を割って話したり、ロータリーに参加する事が楽しいと思える友達を作る事がまず最優先です。ポール・ハリスの言葉にも、RCに入って「友達を作る努力」これをしてないと言う事は「海にダイヤモンドを捨てるより愚かなことだ」言っています。ここに来る楽しさがなければ、例会は苦痛でつまらない、時間とお金の無駄使いに終わってしまいます。じっとしては友達は出来ません。自分から動いて多くの会員と触れ合って、ロータリーの楽しさを見つけて欲しいと思います。

S=STUDY（学ぶ）という事です。

ロータリーは友達と楽しむだけの場所ではありません。それでは単なる遊び友達の、憩いの場所になってしまいます。より一層楽しむためには学ぶ事も大切です。多くの会員の方から、また自分からロータリーの事や自分の足りない所を学んで自己研鑽（じこけんさん）（自分の能力や考え方をより良いもの）し人間性を高めるとい事です。それにはまず、自分から積極的に学ぼうと思ふ姿勢が大切です。解らない事は自分で調べたり、人に聞くなり、その知識の積み重ねが、知らず知らずにロータリアンへと成長して行くのではないかと思っています。そして毎月配られる、「ガバナ－月信」や「ロータリーの友」をつまらないと思わず「さらっと」でいいから読む事も必要です。ロータリーを学ぶ事がより一層ロータリーを楽しむための近道だと思います。

S=SERVICE（奉仕）をする事です。

皆さんが入会した理由の中に、「何か人の役に立ちたい」という気持ちがある。どこか心の片隅にあったと思います。その想いを実現するためにも、今言った、ロータリーを楽しみ、ロータリーを学ぶ事によって、「人の役に立ちたい」という気持ちをさらに手助けをしてくれます。ロータリーでは思いやりの心がなければ奉仕とはいえません。「人の為に尽くす」という気持ちを養い、行動する事が、私達ロータリーの本来の奉仕です。今述べた、この「ESS」「親睦・学び・奉仕」というものは「三位一体」でどれが欠けてもクラブも会員も行き場を失ってしまいます。今日はロータリーの「ESS」についてお話しましたが、この3つがロータリーの魅力です。若い会員の方は是非、ダイヤモンドを捨てる事の無いよう、まずロータリーを楽しむ方法を積極的に見つけて欲しいと思います。

❖ 幹事報告



柳井 渉 幹事

1)出席委員長は守屋善男会員、職業奉仕委員長は辻村彰秀副委員長に委員長をしてもらいます。
2)2月23日の移動例会ですが食事はお弁当を用意してありますので来場されて先に食事をお願い致します。

❖ 出席報告

阿久津 馨 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
2月9日	42(39)	28	1	74.36%
2月2日	42(41)	35	1	87.80%
1月26日	42(40)	34	2	90%

【欠席者】11名

中村 維孝、石崎 孝、金山 慶昭、志澤 昌彦、石坂 弘之、荻野 善明、辻村 彰秀、長田 英一、大野 英明、木村 啓滋、仲 徳子

【今回MU】1名

石崎 孝 (2/7 第8G IM)

【前回MU】1名増加

石崎 孝 (2/4 AG会議)

【前々回MU】増加なし

❖ 委員会報告

次年度幹事 櫻井 康二

2016－2017年度ロータリー手帳の希望者を確認したいと思ひます。年会費の中から希望会員に配布しておりますが、昨今私用しない方もおられるとのことですので、無駄のない発注にしたいと思ひますので、次週例会(2月16日)までにご回答をよろしくお願ひいたします。

新会員やこれから入会される方には従来通り配布いたします。

❖ Table flower

- チューリップ
- スターチス
- プレリユーム
- デンファレ

【花言葉】

チューリップ：「思いやり」

スターチス：「変わらぬ心」

プレリユーム：「繊細な美しさ」

デンファレ：「有能」



❖ 卓話

「職業奉仕の理念」



地区職業奉仕委員会

小泉 隆一郎様（伊勢原RC）

＜ロータリーの職業奉仕とは何か？＞

職業奉仕とはアーサー・フレデリック・シエルドンが提唱し、ロータリーが採択した、他の奉仕団体に無い概念。シエルドンの職業奉仕理念から始まり、時代・状況等によって変化し、今日に至った理念が現在の職業奉仕理念と言える。ロータリーの職業奉仕とは

何か？職業奉仕とはアーサー・フレデリック・シエルドンが提唱し、ロータリーが採択した、他の奉仕団体に無い概念です。従って、シエルドンの職業奉仕理念を知り、その後の時代・状況等によって変化してきた歴史を知ることでロータリー独自の職業奉仕理念を理解出来ると考えられます。ロータリーの職業奉仕理念の歴史は、お配りした資料の通り1910年の「シエルドンのスピーチ」から始まります。

＜職業奉仕理念の歴史＞

1910年8月：第1回全米ロータリークラブ連合会年次大会（シカゴ大会）「シエルドンのスピーチ」

◇19世紀の実業界は、人間の本能をむき出しにした弱肉強食の競争主義。

◇20世紀の実業人を成功に導く方法は、利益を他人とシェアするサービスマニヤを遵守すること。

◇正しい経営学とは、他人に利益をもたらすこと。

◇販売学とは、他人に対して奉仕する学問。

◇He profits most who serves his fellows best.

（最もよく奉仕する者が、最も多く報われる）

1911年8月：第2回全米ロータリークラブ連合会年次大会（ポーランド大会）「大会宣言の結語として採択された言葉」

◇He profits most who serves best.

（最もよく奉仕する者、最も多く報われる）

◇Service,not self.（超我の奉仕）

資料には載せておりませんが、シエルドンは1913年バッファロー国際大会で「事業を成功させる哲学と職業倫理」と題し、・事業経営は経営学の中の販売学の実践である。・火という原因によって熱という結果が生まれるように、大きい奉仕をおこなえば、大きな利益が得られる。・奉仕を行った人が現世において受け取る見返りが利益である。・宗教の教義では、現世において積んだ善行の見返りは来世でしか与えられないが、実業界においては、奉仕に対する見返りが利益として現世で得られる。また、1921年エジンバラ国際大会では「ロータリー哲学」と題し、・「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」というロータリーの奉仕哲学は自然の法則であり宇宙の摂理にかなった法則である。・ロータリーの奉仕哲学は、継続的な利益を得るための人間関係の基本原則である。・職業奉仕はリピーターを得るための科学的かつ道徳的な経営方法。・職業は利益を得るための手段ではなく、社会に奉仕するために存在する。・お金を儲けようと思つて仕事をする事は、事業が失敗する大きな原因である。・精神的な価値としての同僚からの愛や尊敬、良心、自尊心などは、物質的な富によって得られるものだ。と演説をしているので、シエルドンの理念を理解するうえで参考にして下さい。

シエルドンは奉仕理念を構築するにあたって宗教色を排除し、科学として説明しています。最もよく奉仕する者が、最も多く報われる、というロータリーの奉仕哲学は、科学的かつ道徳的な経営方法であるとしています。また、職業には専門職務（医者、僧侶、弁護士、教職者など）と実業（実業家）があり、専門職務に携わる人は利益を追求するためにサービスを提供するのではなく自己が保持する最高の技術を地域社会に提供することと義務付け、実業家も専門職業人と同じ考え方で企業運営をすればその見返りとして最高の利益が得られ、持続的に繁栄し発展できるとしています。

そして、職業奉仕は職業倫理を高揚することではなく、職業奉仕の実践が結果として高い職業倫理につながる。職業奉仕の受益者はロータリー自身だ。と述べています。シエルドンは1930年にシカゴクラブを退会し、1935年に世を去りました。所説有りますが、彼が退会した理由は不明です。

1989年：規定審議会『職業宣言』を採択

1. 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘ぜよ。
2. 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德規準に対し、名実ともに忠実であれ。
3. 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽くせ。
4. 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業又は専門職務上関係を持つすべての人々に対し等しく公正なるべし。
5. 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
6. 自己の職業上の手腕を捧げて青少年に機会を開き、他人からの格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
7. 広告に際し、また自己の事業又は専門職務に関して、これを世に問うに当たっては、正直専一なるべし。
8. 事業又は専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を同僚ロータリアンに求めず、また与えることなかれ。

2011年11月：理事会決定『ロータリアンの職業宣言』を修正して『ロータリーの行動規範』を創設

1. 全ての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の規範を示すこと。
2. 職業の経験と才能をロータリーの奉仕に生かすこと。

3. 高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動及び事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。

4. 他者との取引の全てにおいて公正に務め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。

5. 社会に役立つ全ての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。

6. 若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること。

7. ロータリアン及びロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。

8. 事業又は専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

2014年：理事会決定『ロータリーの行動規範』修正

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に務め、相手とその職業にたいして尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. 事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。

2014年10月理事会決定「5. 事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。」を抹消

『ロータリアンの行動規範』

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
 2. 取引のすべてにおいて公正に務め、相手とその職業にたいして尊重の念をもって接する。
 3. 自分の職業スキルを生かして若い人びとを導き特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
 4. ロータリーやロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- ※2014年10月理事会において、ラビンドン会長工レクトの提案によってロータリアン同士の物質的金銭的な相互扶助が認められ、ロータリーは1905年の物質的相互扶助の世界に戻ったと言える。

本年度、ラビンドンRI会長の強い要望の結果「ロータリアン同士の物質的金銭的な相互扶助が奨励され、ロータリーは1905年の物質的相互扶助の世界にもどり、『最もよく奉仕する者、最も多く報われる』という高邁な職業奉仕理念はアーサー・フレデリック・シエルドンと共に消え去ろうとしている」とも表現されています。第5項「事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない」抹消について並びにこれからの職業奉仕の解釈に関しては、各クラブで意見交換し構築していった頂きたいと考えている次第でございます。

＜四つのテストについて＞

ロータリー章典には、高潔性と企業の社会的責任を重んじるロータリー組織の観点が説明されています。

「ロータリーは創設当初より、事業と専門職における高潔性を土台とする理念を築いてきた。」

「ロータリークラブ及び個々のロータリアンは職業奉仕に献身し、全ての取引において高い倫理基準を守るよう尽力する。」

「これらはロータリーの目的（綱領）、中核的価値観（奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ）、四つのテスト、及びロータリーの行動規範にて要約され、世界各地で活動するロータリークラブ及びロータリアンによって実行されるものである。」とされております。高い倫理基準の実践を通じて高潔性を推進することは、ロータリアンとして不可欠の要素、その中で生まれたのが「四つのテスト」と「ロータリーの行動規範」の二つであり、職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針と言えます。

「四つのテスト」は1932年、シカゴ・ロータリークラブ会員ハーバートJテイラーにより発案されました。倒産寸前の会社を建て直す役目を担ったテイラーは、仕事における全側面において従うべき倫理的指針として「四つのテスト」を創り、このシンプルな哲学のおかげで、この会社は倒産を逃れました。その後1934年に国際ロータリーで採用されて以来「四つのテスト」はロータリアンが倫理的行動を測る上での重要な物差しとして用いられてきました。

【四つのテスト】言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか
- （裏面へ続く）